

平成5年度関西支所研究課題一覧表

関西地域研究推進目標による研究課題

研究問題	研 究 課 題	研究期間	担 当 研究室	課題責任者
X V. 風致 林及び都市近 郊林の育成・ 管理技術の高 度化 (林 寛)	1. 都市近郊林の造成・管理技術の向上			田畑 勝洋
	(1) 都市林の地力増進技術の改善			荒木 誠
	① 根圏土壌の改良			
	b 木炭の水分環境改良効果	3～7	土 壤	荒木 誠
	(2) 都市的環境下における病虫害発生機 構の解明とその防除法の確立			伊藤進一郎
	① 病害発生情報の収集と発生動向の 解析			
	c 関西地域の日本海側で発生する スギ梢端枯被害の原因究明	4～5	樹 病 土 壤 防 災	伊藤進一郎
	③ 突発性害虫の生態			
	a 突発性害虫の生態	60～5	昆 虫	浦野 忠久 小谷 圭司
	(3) 都市近郊林の林相管理技術の向上			
	② 常緑広葉樹林への遷移機構の解明			
	a 広葉樹二次林の群落構造と動態 の解析	4～8	造 林	伊東 宏樹
	b 断片化した広葉樹林の環境特性 と更新機構の解明	5～7	造 林	伊東 宏樹
	③ 林内環境下における更新稚樹の成 長過程の解明			
	c 更新樹の成長特性の解明	3～5	造 林	加茂 皓一 小谷 圭司
	(4) 竹林管理技術の確立			
	① 竹林の生産力と土壌条件の解明			
	b 竹林の立地特性と栄養条件	3～6	土 壤 造 林	鳥居 厚志
	③ 竹林の生態特性の解明			
	a 竹林の生態特性の解明	3～5	造 林	井鷲 裕司
	④ 竹林・竹材害虫の生態とその防除 法の確立			
	a 竹林・竹材害虫の生態とその防 除法の確立	60～6	昆 虫	藤田 和幸

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	2. 都市近郊林の防災的管理技術の向上			小谷 圭司
	(1) 森林の土保全機能の解明と治山工法の改善			服部 重昭
	① 根系とAo層被覆による土砂生産の軽減効果			
	c 急斜面地ヒノキ林の表土流亡危険度評価手法の開発	4～5	土 壤	荒木 誠 (分 担)
	⑥ 山火事による土砂流出の変化			
	a 山火事跡地の植生回復に伴う土砂流出の変化	3～5	防 災	後藤 義明
	(2) 温暖少雨地帯における森林の水保全機能の評価手法の開発			服部 重昭
	① 水保全機能の評価モデルの開発			
	a 水保全機能の評価モデルの開発	元～5	防 災	服部 重昭
	c 水保全機能による立地環境評価	3～5	防 災	服部 重昭
	② 土壌透水性に与える根系の影響の実験的検討			
	a 土壌透水性に与える根系の影響の実験的検討	2～5	防 災	玉井 幸治
	③ 林内の地面蒸発量推定モデルの開発			
	a 林内の地面蒸発量推定モデルの開発	元～5	防 災	玉井 幸治
	⑤ 温暖少雨地帯における林況変化が流出に及ぼす影響			
	a 温暖少雨地帯における林況変化が流出に及ぼす影響	60～5	防 災	服部 重昭
	3. 風致林の機能解明と管理技術の向上			小谷 圭司
	(1) 風致林の機能評価と育成・管理技術の向上			杉村 乾
	① 風致機能の計量的評価法			
	a 風致機能の計量的評価法	63～5	風致林	野田 巖
	h 森林及び林業生産力の変動予測技術の開発	3～7	風致林	杉村 乾

平成5年度関西支所研究課題一覧表

研究問題	研 究 課 題	研究期間	担 当 研究室	課題責任者
XⅥ. 関西 地域における 森林造成技術 と経営管理方 式の確立 (林 寛)	j 森林風致景観の需要分析	3～7	風致林	杉村 乾
	l 地図情報による緑資源のデータ ベース化技術	3～5	風致林	野田 巖
	m 緑資源の機能別類型区分	3～5	風致林	杉村 乾
	n 熱帯林植生の変動評価・予測	3～11	風致林	杉村 乾
	o 国有林材の有利販売のためのマ ーケティング手法の開発	3～6	風致林	杉村 乾
	p 関西地域における緑資源利用計 画の提言	3～5	風致林	野田 巖
	q 森林の利用区分に応じた野生鳥 獣保全技術の確立	4～6	鳥 獣	北原 英治
	r 東アジアの大都市周辺域での環 境林配置手法の確立	4～5	風致林	杉村 乾
	s 孤立化した広葉樹林の遷移過程 における野鼠の生態的地位	5～7	鳥 獣	北原 英治
	④ 林分構造に応じた針広混交林誘導 技術の開発			
	b 林分構造に応じた針広混交林誘 導技術の開発	3～8	造 林	井鷲 裕司
	c 植物群落と立地環境の解析	3～5	造 林	加茂 皓一
	1. 畿陽アカマツ林帯における森林造成技 術の確立			小谷 圭司
	(1) 立地特性の解明と林地利用区分			荒木 誠
	① 林地土壌の母材特性の把握			
	a 林地土壌の母材の堆積特性の把 握	元～6	土 壌	鳥居 厚志
	② 林地土壌の化学特性の解明			
	a 林地土壌の化学特性の解明	元～6	土 壌	金子 真司
	b 人工林施業による土壌炭素貯留 量の解明	5～8	土 壌	荒木 誠
	③ 林地土壌の水分動態の解明			
	b 林地表層土壌の水分動態の解明	5～9	土 壌	荒木 誠

研究問題	研 究 課 題	研究期間	担 当 研究室	課題責任者
	(2) 地力維持増進技術の向上			荒木 誠
	① 林地肥培技術の改善			
	a 林地肥培技術の改善	元～5	土 壌	金子 真司 小谷 圭司
	(3) 立地条件別育成管理技術の向上			
	② 有用広葉樹林への誘導技術の改善			
	a 広葉樹林の間伐試験	3～5	造 林	加茂 皓一
	③ 低位生産林地における針葉樹生産 機構の解明			
	a 低位生産林地における針葉樹生 産機構の解明	元～5	造 林	加茂 皓一
	(4) 病虫獣害の防除法の確立			藤田 和幸
	① ヒノキ主要病害の発生生態の解明 と被害防止技術の開発			
	b 病害発生情報の収集と解析	元～5	樹 病	伊藤進一郎
	② 主要病害の発病機構と抵抗性機構 の解明			
	a 主要病害の発病機構と抵抗性機 構の解明	元～5	樹 病	黒田 慶子
	③ 主要害虫の被害防止技術の開発			
	b 虫害情報の収集と解析	元～9	昆 虫	浦野 忠久
	④ ノウサギの被害防止技術の開発			
	a ノウサギの被害防止技術の開発	60～5	鳥 獣	北原 英治
	⑤ 野ネズミの被害防止技術の開発			
	a 野ネズミの被害防止技術の開発	60～6	鳥 獣	北原 英治
	⑥ ニホンジカの個体群変動機構と個 体群管理技術			
	a ニホンジカの個体群変動機構と 個体群管理技術	60～8	鳥 獣	小泉 透
	⑦ 松くい虫個体群動態とマツ枯損の 疫学的解明			
	c マツノマダラカミキリ個体群動 態とマツ枯損の疫学的解明	元～7	昆 虫	藤田 和幸
	d マツ穿孔虫類の天敵昆虫の生態	3～6	昆 虫	浦野 忠久

平成5年度関西支所研究課題一覧表

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	e 松くい虫被害の激化防止のための天敵利用技術の開発	4～8	昆 虫	細田 隆治
	(5) 施業技術の体系化と経営的評価			野田 英志
	① 林分成長の解析と収穫予測			
	a 林分成長の解析と収穫予測	元～6	経 営	家原 敏郎
	b 緑資源の地帯区分	3～5	経 営	家原 敏郎
	c 人工林収穫試験地30年間の施業効果と密度管理基準に関する総合研究	5～6	経 営	家原 敏郎
	③ 育林投資の採算性評価手法の開発			
	a 育林投資の採算性評価手法の開発	元～5	経 営	家原 敏郎
	c 緑資源の最適配置計画手法の確立	3～5	経 営	田村 和也
	2. 良質材生産技術の高度化と経営管理方式の確立			田畑 勝洋
	(1) 林業技術の地域特性の解明			小谷 圭司
	① 自然立地条件の解析			
	a 地形・地質・土壌要因による立地環境評価	3～5	土 壌	鳥居 厚志
	③ 保育方法の違いと量的質的成長との関係解明			
	a 保育方法の違いと量的質的成長との関係解明	元～5	造 林	加茂 皓一
	⑥ 林分構造の推移機構と林分成長			
	a 林分構造の推移機構と林分成長	3～8	経 営	家原 敏郎
	b 森林継続調査法による長伐期林分情報の整備方式の開発	3～7	経 営	家原 敏郎
	c 高齢林分の物質生産過程の解明	5～8	造 林 経 営	加茂 皓一
	(2) 材質劣化防止技術の確立			伊藤進一郎
	① 材質劣化に関与する病害の発生機構の解明			

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	a 材質劣化に関与する病害の発生機構の解明	元～5	樹病	伊藤進一郎
	b その他の原因菌の検索及び変色要因の解明	4～6	樹病	伊藤進一郎
	c 発生を回避するための施業技術の解明	4～6	樹病	黒田 慶子
	③ スギカミキリなど穿孔性害虫の個体群密度と被害発生条件			
	e スギノアカネトラカミキリの分布実態調査	3～6	昆虫	藤田 和幸
	f スギカミキリ被害の発生条件の解明と防除技術の確立	4～7	昆虫	伊藤 賢介
	⑤ 材質劣化に関与する獣害の究明			
	a 材質劣化に関与する獣害の究明	60～8	鳥獣	小泉 透
	b 獣害発生情報の収集と解析	元～	鳥獣	北原 英治
	(3) 経営管理方式の確立			野田 英志
	③ 林業経営管理手法の体系化			
	a 林業経営管理手法の体系化	4～8	経営	野田 英志
	⑤ 林業経営管理主体の育成			
	a 林業経営管理主体の育成	4～8	経営	野田 英志
	b 竹材生産構造の解明	4～6	経営	田村 和也